

お砂踏みの申込時間：8時30分～15時30分

日想観とは：

死後、極楽浄土に行くための修行の1つ。西に沈む太陽を見て、その丸い形を心に留め、遥か西方にある極楽浄土を思い描く修行法。

8) 布袋堂 (ほていどう)

御本尊：布袋尊像 (乳布袋尊)

俗に、乳のおんばさんのお堂と呼ばれ、子どもさんが健康に育つように、お乳がよく出ますようにとの願いをお持ちの女性がよくおまいりされます。入口には「お乳が出ますよう」との願いを書いた絵馬が多く吊り下げられています。

布袋さんと乳の出との関係はよく分かりませんが、一説には元来聖徳太子の乳母を祀ったのが始まりで、布袋の乳の豊かさと乳の出がよくなりますようにとの信仰が結びついたものといわれています。

この名前の由来は、布袋尊が背負う大きな袋から来ています。

布袋尊のご利益は以下のものがあります。

開運、子宝、良縁、夫婦円満、商売繁盛、無病息災、財運、金運向上等々です。

布袋尊の由来

布袋尊という神様が日本に持ち込まれたのは仏教によるもので、当初は水墨画の画材として広く認知されたようです。

福の神として信仰されたとされます。

布袋尊と言えば、上のイラスト画像のように真ん丸のお腹に真ん丸の顔、そして袋を持っていますね。

七福神

七福神とは、大黒天 (だいこくてん)、毘沙門天 (びしゃもんてん)、恵比寿天 (えびすてん)、寿老人 (じゅろうじん)、福祿寿 (ふくろくじゅ)、弁財天 (べんざいてん)、布袋尊 (ほていそん) の七つの神様の総称です。

